

平成 18 年度
アライアンスビジネス研究会 活動報告書

平成 19 年 5 月



社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

アライアンスビジネス研究会の活動

アライアンスビジネス研究会は、会員間のビジネスアライアンスの活性化を目的として、主として IT ベンチャー企業や中小企業にプレゼンテーションの場を提供し、年間 10 回程度のビジネス交流を平成 14 年度より 5 年間実施してきた。開催 6 年目を契機に更なるビジネスアライアンスの活性化をはかるため、今後、関連団体との連携・協力を深めることを視野に入れながら、そのビジネス交流の枠を更に広げ、活動を実施する。

アライアンスビジネス研究会メンバー

主 査：佐藤義孝 エヌ・ティ・ティ・インテリジェント企画開発㈱

メンバー：安達美雄 ㈱大塚商会 社長室 室長

中道泰隆 ㈱リードレックス 取締役

折登泰樹 ピーシーイー㈱ 常務取締役 営業本部長 兼 Dream21 事業部長

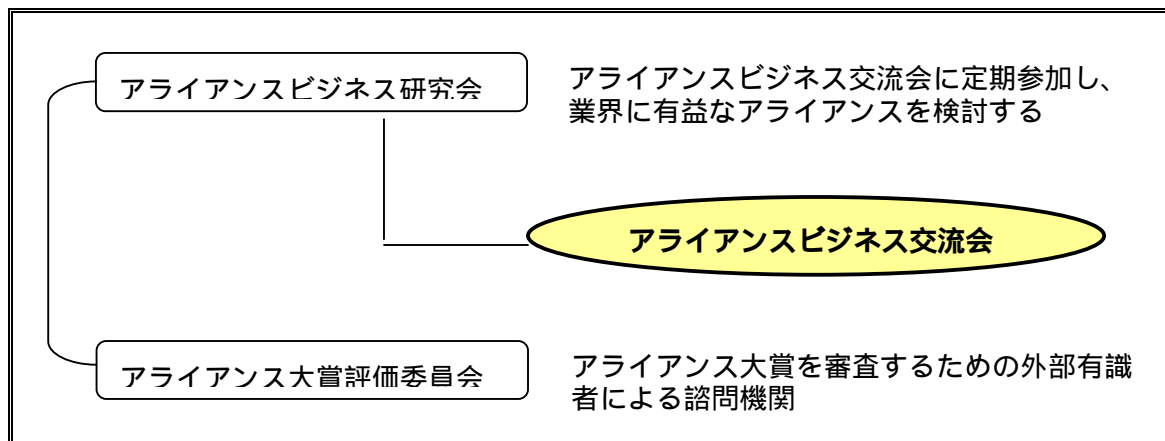
坂本祥浩 丸紅インフォテック㈱ 販売推進本部 コーポレート営業推進部長

岡本康広 ㈱ソフトクリエイト 社長室 室長

清水和夫 蝶理情報システム㈱ 執行役員 部長

(順不同、敬省略、平成 18 年度時点)

運営組織体系

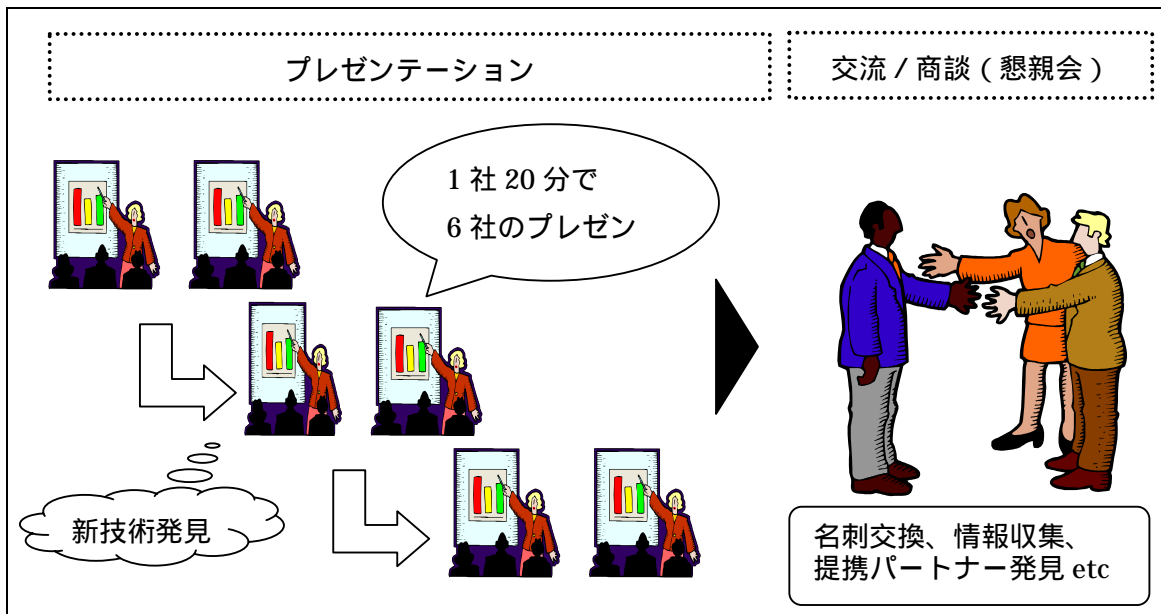


アライアンス大賞評価委員会はアライアンス交流会でのプレゼン企業を対象に提携内容を評価し表彰するアライアンス大賞のための外部有識者による審査諮問機関である。

アライアンスビジネス交流会とは

「アライアンスビジネス交流会」とは、IT プロダクトやサービス等のプレゼンテーションの場を提供するとともに、参加企業相互のビジネスマッチングや懇親を促す交流会を行うイベントである。

- ・ 1 回 6 社のベンチャー企業等が自社の製品・サービス等のプレゼンテーションを実施。
- ・ プレゼンテーション後、参加者同士のビジネス交流 / 商談（懇親会）を開催。



アライアンスビジネス交流会の流れ

タイムテーブル	プログラム
16:00～16:05	アライアンスビジネス研究会主査挨拶
16:05～16:25	プレゼンテーション1【最大20分間】
16:25～16:45	プレゼンテーション2【最大20分間】
16:45～16:55	休憩
16:55～17:15	プレゼンテーション3【最大20分間】
17:15～17:35	プレゼンテーション4【最大20分間】
17:35～17:45	休憩
17:45～18:05	プレゼンテーション5【最大20分間】
18:05～18:25	プレゼンテーション6【最大20分間】
18:30～19:30	交流/商談（懇親会）

アライアンスビジネス交流会への参加

プレゼンテーション発表者資格

CSAJ 会員または協力団体会員（非会員は参加費 2 万円で参加可能）

IT プロダクト/サービスをお持ちの企業

但し、プレゼンテーション内容については、事前審査（ヒアリング）を実施。

プレゼンテーション申込

以下の URL よりご登録。事務局より改めてご連絡します。

プレゼンテーション参加希望申込書先：

http://www.csaj.jp/committee/ab/ab_gaiyo.html

アライアンスビジネス交流会聴講希望者

参加費 2,000 円で誰でも参加可能。

新しい技術をお探しの方、新規事業をご検討の方に特に適する。

各回開催案内よりお申し込み下さい。

アライアンスビジネス交流会に関する情報を定期的にご希望の方は、ぜひ「CSAJ めるまが」にご登録ください（登録はこちらから <http://www.csaj.jp/maimaga/>）
その他、アライアンスビジネス交流会に関するご不明な点がございましたら、以下の問合せ先までご連絡ください。

～お問合わせ先～

社団法人 コンピュータソフトウェア協会

業務課 鈴木啓紹

〒100 - 0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4F

TEL : 03-5157-0785 FAX : 03-5157-0781 E mail : ab@csaj.jp

社団法人 コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

URL : <http://www.csaj.jp/>

アライアンスビジネス交流会

URL : http://www.csaj.jp/committee/ab/ab_gaiyo.html

アライアンス大賞

CSAJ アライアンス大賞とは

社団法人コンピュータソフトウェア協会（会長：和田成史、以下 CSAJ）では主にベンチャー企業育成を目的とするアライアンスビジネス研究会（主査：佐藤義孝 NTT インテリジェント企画開発㈱代表取締役社長）では、アライアンスビジネス交流会を運営しております。この研究会では IT 企業間のビジネスアライアンス（企業提携）推進を目的にプレゼンテーションや交流会などの活動を行っています。

CSAJ アライアンス大賞とは当該交流会において、自社のプロダクト・サービスのプレゼンテーションを実施した企業（主にベンチャー企業、またはそれに準ずる企業）に対して、その後一定期間におけるアライアンスの実績と将来性を評価し授与するものです。

また、優秀なアライアンスの実績を収めたが、中堅以上とみなされる会員企業の場合には特別賞を授与することがあります。さらにアライアンス大賞を授与された企業のアライアンスパートナー（複数の場合もある）に対してもパートナー賞の授与が行われます。

目的

我が国の経済は、市場競争の激化、グローバル化、消費者ニーズの多様化などが進展し、起業率と廃業率の逆転現象が起っています。そのような中で、今、経済の活性化や新たな雇用の創出を図る上で、IT ベンチャー企業支援を積極的に行うことが望まれています。残念なことに、ベンチャー企業の育成に必要とされる教育・文化・社会のしくみなど環境の未整備が否めない状況にあります。また、起業家自身にも、失敗をひとつの経験やバネにし、より大きなビジネスに賭けていくフロンティアスピリッツが培われているとは言えません。本賞は現時点におけるベンチャー企業の小さな成果や実績を踏まえ、将来の可能性を評価することにより、起業家のモチベーションを高め、市場でブレイクスルーできるような日本初の企業が生まれることを願って創設されました。また、支援する側にもパートナー賞を授与することにより、更なるベンチャー育成への輪が広がり、業界発展に寄与できるものと信じております。

対象企業

CSAJ の会員であること。

平成 18 年（平成 18 年 1 月～平成 18 年 12 月）にアライアンスビジネス交流会でプロダクト・サービス等のプレゼンテーションを実施した企業。（主にベンチャー企業、またはそれに準じる企業）年間 3 2 社。

選考基準

- プレゼンテーション後（3～6 ヶ月間程度）のアライアンス状況及び実績
- プロダクト・サービス等の市場性（市場規模や今後の市場展望、成長の見込みなど）
- プロダクト・サービス等の新規性（製品の独自性・革新性・目新しさなど）
- プロダクト・サービス等の技術力（新しい技術への取り組み、開発能力など）

選考方法

第一次選考 アライアンスビジネス研究会における選考

プレゼンテーション後 3～6 ヶ月間の実績報告書、CSAJ 事務局からのヒアリング結果報告書（アライアンス実績があった、または見込まれる企業に対して当該企業ならびにパートナー企業双方へのヒアリングを実施）、アライアンスビジネス交流会聴講者からのアンケート結果などを元に検討し、第二次選考へ進む候補企業を選考する。

第二次選考 アライアンス大賞評価委員会における選考及び受賞企業決定

第一次選考を通過したアライアンス大賞候補企業に対して、有識者で構成される評価委員会にて詳細な検討を行い、候補企業に対するヒアリング審査を実施し、最終決定する。

アライアンス大賞評価委員会（第3回開催時）

委員長 前川 徹 早稲田大学 客員教授 / (株)富士通総研 主任研究員
委員 太田 民夫 (株)日経 BP サービス 代表取締役社長
田中 正利 (株)きつとエイエスピー 専務取締役
池田 茂 情報通信ネットワーク産業協会 専務理事
岡島 孝男 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)
ソフトウェア開発・金融推進部 金融推進グループ 上席審査役
(順不同、敬省略)

アライアンス大賞発表及び表彰

発表：CSAJ 総会ならびにその後の記者発表にて

表彰：CSAJ 総会後の懇親パーティにて

授与品ならびに受賞特典

表彰状及びトロフィー

総会後の懇親パーティ会場にて展示の機会

記者発表ならびに CSAJ ホームページなどでの告知

CSAJ 主催もしくは協賛する展示会・イベント等での発表の機会

CSAJ ホームページ上において受発注情報の掲載

アライアンス大賞の実績

第1回 JPSA アライアンス大賞

2004年6月9日(水)の第19回通常総会(平成16年度)において「第1回 JPSA アライアンス大賞」を発表。なお、最優秀賞については提携実績等から判断し、授賞を見送りとなっている。

<授賞企業>

- ・最優秀賞：授賞企業なし
- ・奨励賞：(株)高速屋
：(株)ターボデータラボラトリー
：(株)クオリティ・アンド・バリューコンサルティング
- ・特別賞：ソフトクリエイト(株)

第2回 JPSA アライアンス大賞

2005年6月8日(水)の第20回通常総会(平成17年度)において「第2回 JPSA アライアンス大賞」を発表。

<授賞企業>

- ・最優秀賞：red たんぼぼ(有)
- ・奨励賞：(株)チェプロ
：(株)ネットディメンション
：(株)ヴィバーク

第3回 JPSA アライアンス大賞

2006年6月14日(水)の第21回通常総会(平成18年度)において「第3回 JPSA アライアンス大賞」を発表。

<授賞企業>

- ・最優秀賞：スマートワイヤレス(株)
- ・優秀賞：(株)Knowlbo
：フォーディーネットワークス(株)
- ・奨励賞：ワークスコープ(株)
- ・パートナー賞：エヌ・ティ・ティ・インテリジェント企画開発(株)

(順不同、敬省略)

プレゼンテーション企業一覧

プレゼンテーション企業一覧

開催日	企業名	プレゼンタイトル
2005年 4月18日	(株)メティオ	WEB エントリー入力画面の分離開発システム『FormChorus for Ajax』ご紹介～レガシーシステムのオープン化及びWEB化に最適システム～
	(株)データプレイス	『Anydocument to XML』視覚表現情報を利用した電子ドキュメントの高精度 XML タグ付けツール XMLCapture® PDF2XML-SDK のご紹介
	(株)アイ・エム・ジェイ	XML コンテンツにより実現する『ワンソース・マルチユース』について
	(株)アクタソフトウェア	『S600.org』～インターネット経由からでも安全に、そして複数ユーザーが同時に利用できるスプレッドシートの紹介
	シーエムジャパン(株) PBJ(株)	FLASH を利用したインターネットライブ配信システム Microsoft 『ORIGAMI』 Project 製品、『SmartCaddie』の紹介、製品活用事例
2006年 6月20日	(株)アールワークス	サービス連携によるインターネットリサーチサービス(Voice-Spring)の展開～Web2.0 的のネットリサーチに向けてコラボレーション～
	アップラン(株)	見て終わりだった GIS から自分達の手で見たい地図へ瞬時に反映する GIS へ！“高速マッチング GIS”『分析博士』のご紹介
	(株)システムエグゼ	データベース簡易閲覧システム『DataPointer』～携帯電話や社外 PC から安全に社内データ資産へのアクセスを可能にします。また内部統制の観点から、利用者のアクセスログ取得機能を実装しています～
	(有)フロンティアオンライン	『デジカメ写真生活支援シリーズ』のご紹介と今後の取り組みについて
	(株)プロトン	『Visual Studio』.NET でも使用可能な各種 API を持つ高速画像処理コンポーネント。ドキュメンティングを中心に様々な分野において高い信頼性が評価されています。
	ソフトアドバンス(株)	3Dリアルタイムレンダリング技術を応用した、プレゼン用ソフトウェア『prezvision』は、プレゼンテーションのビジュアルに新しいスタンダードを提案します。
2006年 9月20日	オフィスアメイジング(株)	アナログも含めた情報整理と共有財産化された会社内のドキュメント利用方法
	(株)アズベイス	従来のグループウェアを超えた、情報共有ツールをASP サービスにて提供
	(株)カイエンシステム開発	ASP による「BizMagic CRM Lite」の導入利用について～現場志向のシステム BizMagicCRM によるメリット及びP・D・C・A サイクルの実現について～
	IT-GENESIS(株)	JAVA プログラムを自動生成して人材不足解消&開発コスト大幅削減
	(株)いいじゃんネット	モバイルアクセスにおける安全性と利便性を提供する CACHATTO の紹介
	(株)サイバーネットソリューションズ	プロジェクトを成功させる為の PM ツール用エンジンとは～NPAI(New Pmbok Analysis and Integration) エンジンのご紹介～

プレゼンテーション企業一覧

開催日	企業名	プレゼンタイトル
2006年 10月21日	(株)ニューフォレスター	眠るセミナー資産を経営資源に変える！～情報発信ツール『Presen Station』のご案内～
	(株)ピーエスシー	Exchange Server をベースとしたメール型グループウェア ASP サービス『P-BERRY』のご紹介
	イズ・コミュニケーションズ(株)	データが流出しても、情報は漏らさない。～『パスワード×暗号化×分割』が実現する、セキュリティの新しいカタチ『影郎/セキュアポケットPC』のご紹介～
	サイバーソリューションズ(株)	最新情報共有ツール！『Cyber Blog』～見えなかった知識が見えて来る!?～
	(株)グローバルテクノ	コンプライアンス準拠に向けた情報セキュリティの見える化の提案『SPRINGER 3.0』
	フリービット(株)	『Emotion Link』ASP をベースとしたサービス展開のご紹介
2006年 12月12日	TDC ソフトウェアエンジニアリング(株)	『楽照名人』プログラムレスによるデータベース開発・保守の生産性向上を ご提案
	(株)JIG.JP	『jig ムービー』のご紹介、ムービーを利用したビジネスの拡大
	PFU ライフビジネス(株)	IT 内部統制とソフトウェア資産管理～ソフトウェア資産管理アドバイザー～
	(株)アグレックス	『Cyber ID Meister』内部統制時代のアカウント統合管理ソリューション
	(株)ベーシック	『UC-Key』USB キーを利用したライセンス管理。運用コスト削減
	(株)グリーンキャット	『SpeedLinker』『MaskChecker』PDF 加工の高速化・高品質化による、文書管理の効率化
2007年 2月21日	日本スーパーマップ(株)	『SuperMapGIS』で実現する空間情報アプリケーション開発
	(株)デジタルコミュニケーションズ	Word 2 XML の活用と展開事例
	(株)サイワークス	営業の現場力を向上する“見える化マネジメント”
	エニユーザー(株)	業所向け IP セントレックスシステム『のぞみ電話サービス』商品説明および販売プログラムのご紹介
	(株)シーフォーテクノロジー	電子透かし『acuagraphy』およびその関連技術
	サイバーステーション(株)	サイトクリエイション R-ASP とその基礎技術「ドメイン中継通信技術(DRCT)」の概要とその応用について

プレゼンテーション企業の概要及び発表内容

プレゼンテーション実施時資料

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社メティオ
住 所：〒115-0045 東京都北区赤羽2-69-2 千秀ビル8F
T E L：03-5249-5432
U R L：http://www.metio.jp
設 立 年 月 日：1997年12月
資本金(百万円)：15百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：オリジナルソフトウェア開発・販売
電子帳票作成システム (FormChorus シリーズ)
CAD 関連事業 (CADROBO ソフトウェア)
インターネットコンテンツの作成支援会

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品/サービスの分類

基幹業務用向け ERP など各種 WEB 開発

プレゼンテーションテーマ

WEB エントリー入力画面の分離開発システム「FormChorus for Ajax」ご紹介
～レガシーシステムのオープン化及び WEB 化に最適システム～

プレゼンテーション概要

基幹業務用 WEB システムの入力画面とプログラムの開発を完全分離でき開発の効率化、高品質化を実現できる Ajax 対応入力画面作成システムのご紹介。

- ・ Ajax 技術の利用により画面表示されるフォームの WEB ユーザー・インターフェースと、入力データ処理を分離しています。アクセスがあるごとにサーバが問合せを参照してデータベース (ファイル) から該当データを引出し値を表示します。その結果入力画面開発とプログラム開発の完全分離が実現できます。・各入力フィールドに、「キー」「フォーカス」「DB 参照」などの設定ができ、「XML 作成」「スクリプト参照」などの機能ボタンを用意してウィザード (対話形式で質問に答えていくことによって、複雑なアプリケーションソフトを簡単に操作) 感覚で作成することができます。これにより基幹業務用 WEB システムの入力画面開発の効率化を実現しました。
- ・ 開発工数が大幅に削減できることによるコスト削減とリスク削減ができます。また、基幹業務用システムを汎用機環境からオープン環境、WEB 環境への移行考えるレガシーシステム使用ユーザーを抱えているシステムインテグレータ (Sier) がレガシーシステムの WEB 化を合理的に行うために自由な開発の組み合わせが対応できることが可能になります。

プレゼンテーションの目的

弊社は、CAD ソフトウェア販売の実績があり約 2000 社ユーザーを把握していましたが、CAD 業界の低価格化・及び業界全体の閉鎖感があり、販路数の絶対数がたりなく現状は受託開発など 1 本釣りの受注になっています。現状を打破するため開発力には自信を持っていますので新分野に新技術の商品を投入して進出をしたいと思っています。そのために販売代理店等、販売チャンネルを広げることを目的とします。

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 データプレイス
住 所：〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-17 松永ビル3F
T E L：03-5408-7895
U R L：http://www.dataplace.co.jp/
設 立 年 月 日：平成10年6月
資本金(百万円)：410百万円
従 業 員 数：12名(平成17年8月1日現在)
事 業 内 容：付加価値データ販売およびサービス提供(企業情報など) 情報サービス技術企画・
開発(XMLCapture[®] PDF2XML-SDK 販売総代理店、XML 技術) コンシューマ向けサービス(携帯サイト、
学力診断など) システム開発(サービスインフラ構築)

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品/サービスの分類
- ・製品：ソフトウェア開発キット XMLCapture[®] PDF2XML-SDK
プレゼンテーションテーマ
 - ・「Anydocument to XML」視覚表現情報を利用した電子ドキュメントの高精度 XML タグ付けツール
XMLCapture[®] PDF2XML-SDK のご紹介
プレゼンテーション概要
 - ・データ通信の局面で広範に利用されだした XML 応用技術であるが、依然としてデータベース分野での XML の利用は限定的なものにとどまっていると感じている。原因は企業内ドキュメントなど XML 化メリットがあるコンテンツにおけるデータ生成時の XML 化コストにある。弊社の提供する XMLCapture[®] PDF2XML-SDK はドキュメントデータの視覚的な表現を利用して構造を生成しこれにより自動的に XML タグリングすることの出来る有用な汎用ツールである。
 - ・XMLCapture[®] PDF2XML-SDK の開発元は米シリコンバレーの XMLCities, Inc.。三菱商事がその技術の先見性に着目し投資育成を行ってきた。中核部分は特許で保護されており、他に類を見ないユニークな技術。
 - ・本製品は開発キットであるという性格から、業種ソリューションをお持ちのベンダーの方をアライアンスパートナーとして広く募集中である。
 - ・今回、この開発キットを利用して作成されたソリューションのシードをご覧いただき、各社の得意とする事業分野での応用をご検討いただきたい。
- プレゼンテーションの目的
- ・利用分野に関しての専門性を持ったソリューションベンダーの獲得
 - ・ボリュームセールスできるアプリケーション組み込み用途の開拓
 - 対象の業種・業態(聴講企業外の会員企業)
 - ・開発ソフトウェアベンダー(XML 利用技術に長けた)
 - ・ドキュメントプロセッシングに関心あるソリューションベンダー
 - ・企業・公共申請アプリケーションのメーカー
 - アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・製品の詳細技術情報の提供
 - ・ビジネス適合させるための製品の機能拡張の提供
 - ・アライアンスメンバー相互の共同プロモーションの実施
 - ・見込み顧客の紹介

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アイ・エム・ジェイ
住 所：〒141-0031 東京都品川区西五反田7-1-1 住友五反田ビル
T E L：03-5759-0743
U R L：http://www.imjp.co.jp/
設 立 年 月 日：1996年7月
資 本 金 (百 万 円)：2,426 (百万円) (2005年9月末現在)
従 業 員 数：331名 (2005年9月末現在)
事 業 内 容：Webインテグレーション事業
モバイルインテグレーション事業
エンタテインメントコンテンツの企画・制作・プロデュース
広告マーケティング事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品/サービスの分類

Web 2.0 Web Meister 2.0

XML ベースの CMS 「Web Meister 2.0」

プレゼンテーションテーマ

・XML コンテンツにより実現する「ワンソース・マルチユース」について

プレゼンテーション概要

- ・「Web Meister 2.0」は情報資産を効率よく、汎用的に管理できるように XML をベースに開発されています。XML でコンテンツを、XSLT と CSS でデザインを定義する方式をとるので、フロントエンドとバックエンド、文字要素とデザイン要素の管理を1つのフレームワーク上で同時並行しながら分類できます。それゆえサイト構造は明確で W3C 仕様に準拠することも容易です。また、RSS フィードによって更新情報をより早くサイトユーザーに伝えることができるのはもちろん、他のサイトやアプリケーション、他のデバイス（携帯端末、PDA、放送・出版、電化製品など）との連携を考えた、「ワンソース・マルチユース」を実現する Web サイト構築が可能になります。

プレゼンテーションの目的

- ・アイ・エム・ジェイは Web インテグレーション事業、モバイルインテグレーション事業を事業の中心としておりますがそれ以外の他のサイトやアプリケーション、他のデバイス（携帯端末、PDA、放送・出版、電化製品など）との連携を考えた、「ワンソース・マルチユース」を実現することはアイ・エム・ジェイのみでは実現できません。XML データ連携を行える企業に「Web Meister 2.0」を理解していただければと思います。

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・XML 関連製品製造・販売業、XML コンテンツ保有企業、システムインテグレーター、制作会社

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・XML データ連携を行うことで双方が持っている顧客を連携することができます。また、それにより単一製品よりも付加価値が高くなります。

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アクタスソフトウェア
住 所：〒141-0021 東京都品川区上大崎2-13-20高砂ビル白金507
T E L：03-5791-1786
U R L：http://www.acutus.co.jp/
設 立 年 月 日：2003年7月
資 本 金 (百 万 円)：10百万円
従 業 員 数：7名
事 業 内 容：パッケージ・ソフトウェアの企画・開発・販売、ソフトウェア開発の受託やそのコンサルティング

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
インターネット経由でも、複数ユーザーが同時利用可能なスプレッドシート

プレゼンテーションテーマ

- ・『S600.org』～インターネット経由からでも安全に、そして複数ユーザーが同時に利用できるスプレッドシートの紹介～

プレゼンテーション概要

- ・多くの事業所では、PCで動く表計算ソフトウェアで様々な帳票を作り、これらを複数のユーザーが参照、編集しています。しかし、表計算ソフトウェアは個人での利用を前提として作られてあるため、帳票を共有した場合に、誤って書き換えられ、見られては困るデータを自由に参照できてしまうという問題があります。表計算ソフトウェアの便利さを失わずに、帳票を複数のユーザー間で安全に共有できる仕組みである「S600.org」を紹介します。

プレゼンテーションの目的

- ・業務提携が可能なパッケージソフトウェアベンダーやSIerの募集

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・パッケージソフトウェアベンダーやSIer

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・当社の S600.org を製品や SI の部品として利用していただくことで、お客様にはよりよい機能を提供でき、また開発時のコストを削減することができます。

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：シーエムジャパン株式会社
住 所：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-25-15 MS日本橋ビル6階
T E L：03-5640-5741（代表）
U R L：http://www.douga.co.jp http://cmjapan.com
設 立 年 月 日：2000年8月
資 本 金（百 万 円）：5,236万円
従 業 員 数：14名
事 業 内 容：・ストリーミング動画配信（PC・携帯電話）
・CM・販売促進ビデオの制作、ビデオ撮影
・WEB制作、WEBシステム開発
・動画広告プロモーションの企画・運営

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
- ・一般企業向けインターネットライブ配信システム（ASP）
- プレゼンテーションテーマ
- ・FLASH を利用したインターネットライブ配信システム
- プレゼンテーション概要
- ・FLASH 技術を利用し、簡単にインターネットでのライブ配信を可能にした CMJapan FLASH-LIVE、FLASH-LIVE PRESENTER の紹介。
 - ・大量の同時アクセスにも安定した配信が可能です。
 - インターネットでのライブ配信が目新しいものではなくなった現在でも、ライブ配信にかかる費用はまだ高額です。
 - CMJapn FLASH-LIVE は既設のインターネット回線を使用し、ユーザーだけでも簡単に設定、配信可能で、且つローコストでのライブ配信を可能にします。
- プレゼンテーションの目的
- ・販売代理店募集
 - ・FLASH MEDIA SERVER2 のレンタル業者（ホスティング業者）募集
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・インターネット関連のサービス販売事業者、コンテンツプロバイダー事業者、ウェブ制作事業者、ウェブコンサルティング事業者、サーバホスティング事業者
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・販売代理フィー
 - ・サーバレンタルフィー
 - ・商材の増加

平成 18 年度 第 1 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：P B J 株式会社
住 所：〒163-0818 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル18階
T E L：03-5339-8871
U R L：http://www.pbj-inc.co.jp http://www.smartcaddie.jp
設 立 年 月 日：2002年6月
資 本 金（百 万 円）：300百万円（平成16年9月現在）
従 業 員 数：18名
事 業 内 容：タッチパネル及びタブレット型パソコン及び周辺機器並びにソフトウェアの企画、
設計、製造、販売並びに輸出入

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
- ・「SmartCaddie(UMPC)」タブレット P C
- プレゼンテーションテーマ
- ・Microsoft 「ORIGAMI」Project 製品、「SmartCaddie」の紹介、製品活用事例
- プレゼンテーション概要
- ・Origami プロジェクトで開発された UMPC 用ユーティリティソフト群を備えた PC、「SmartCaddie」の製品紹介とアプリケーション例の紹介
- プレゼンテーションの目的
- ・ソフトウェアベンダー様への ORIGAMI プロジェクトの製品の紹介とその応用例の紹介
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・ビジネス（企業、医療、製造） コンシューマ
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・10万円を切った小型、高性能パソコンをソフトウェアとバンドルし販売が可能
 - ・PDA 端末とノート PC との間としての位置づけを対象としている企業

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 アールワークス
住 所：〒112-0002 東京都文京区小石川 1-3-11 イトーピア小石川梅津ビル
T E L：03-5804-1897
U R L：http://www.rworks.jp
設 立 年 月 日：2000 年 10 月（創業 1985 年 3 月、株式会社アステック）
資 本 金：425.4 百万円
従 業 員 数：75 名（2006 年 4 月 1 日現在）
事 業 内 容：マネージドデータセンター事業、ネットワークソリューション事業、ソフトウェアブ
ロダクト事業、システムインテグレーション事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
インターネットリサーチのアプリケーション / プラットフォームサービス

プレゼンテーションテーマ

- ・サービス連携によるインターネットリサーチサービス(Voice-Spring)の展開
Web2.0 的なネットリサーチに向けてコラボレーション

プレゼンテーション概要

- ・Voice-Spring はアールワークスが培ってきた Web 技術やネットビジネス開発の経験を生かして開発されたサービスで、インターネットリサーチに求められる様々な機能を ASP 型サービス」として提供します。主にマーケティング支援会社や情報ポータル会社のアンケートサービスに利用していただくシステムですが、モニター会員データベース、アンケート回答データなどを他の CRM などのネットワークサービスや社内システムと連携することでユーザーニーズに対応する柔軟なシステムを提供できます。

プレゼンテーションの目的

- ・Web インテグレーションやサービスインテグレーションを行われている企業の方でアンケートニーズのある顧客のシステム構築に際し、サービス連携という方法で Voice-Spring を利用していただくことで、開発期間の短縮、コストの削減およびシステムの柔軟性を高められることをご理解いただければと思います。またコンピュータベーストレーニングのようなアンケート類似のシステム開発あるいは ASP での提供を考えておられる企業の方にも参考にしていただければと思います。

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・マーケティング系 Web サービス提供企業、システムインテグレータ（CRM、広告業業務などマーケティング業務系システム）、XML 連携サービス企業、データベースマーケティング企業

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・サービス連携を行うことでネットワーク調査を必要とする企業の Web システム構築あるいはサービスインテグレーションを迅速実現できます。また容易に本サービスを複数の企業に提供できます。

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：アップラン株式会社
住 所：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビル3F
T E L：03-6225-4104
U R L：http://www.upplan.jp/
設 立 年 月 日：2005年3月
資 本 金 (百 万 円)：4百万円
従 業 員 数：7名
事 業 内 容：1) 新規IT商品企画 / 販売
・地図情報システム「分析博士」の販売
・Web サイト簡単構築 & 運用サービス「Web Smarty」の販売
2) 新規市場開拓業務コンサル
・コールセンター(花巻支店内)受託業務
・営業アウトソーシング業務

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
国産 GIS(地理情報システム)：分析博士

プレゼンテーションテーマ

- ・見て終わりだった GIS から自分達の手で見たい地図へ瞬時に反映する GIS へ！
“高速マッチング GIS” 「分析博士」のご紹介

プレゼンテーション概要

- ・e-Japan 計画で推進項目に盛り込まれたり、大手ファーストフードチェーンにおける出店計画での導入事例等、GIS は公共系から始まり民間へと普及しつつあります。
しかし、その殆どが決まった用途であらかじめ用意されたデータを見るだけというものでしたので、次第に陳腐化し使われなくなるというものも少なくありませんでした。
私どもは従来の GIS のイメージである「高い、使いにくい、使われなくなる」とは全く違う活用方法をご提案しております。そのひとつのポイントが手持ちデータと地図データベースの高速マッチングによるデータ差し替えの簡便性です。
これにより、エリアの生の情報をリアルタイムに把握・分析することが可能です。

プレゼンテーションの目的

- ・分析に使うデータは住所を持つ CSV かテキスト形式であれば利用できますので、CRM/SFA/ERP 等パッケージベンダー及びシステムインテグレーターとの協業

対象の業種・業態

- ・CRM/SFA/ERP 等のパッケージベンダー、SIer、経営/営業コンサルタント

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・CRM/SFA/ERP 等のパッケージ提案時に地図を利用した分析も併せて提案する事で競合他社との提案差別化

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 システムエグゼ
住 所：〒104-0033 東京都中央区新川2-1-5 THE WALL 6F
T E L：03-5542-5592
U R L：<http://www.system-exe.co.jp/>
設 立 年 月 日：1998年2月
資本金(百万円)：88百万円
従 業 員 数：280名
事 業 内 容：1．情報システムのコンサルティング、設計、開発、保守
2．オラクルを中心とした DB 関連製品、ソリューションのご提供

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
データベース簡易閲覧システム「DataPointer」

プレゼンテーションテーマ

- ・携帯電話や社外 PC から安全に社内データ資産へのアクセスを可能にします。
また内部統制の観点から、利用者のアクセスログ取得機能を実装しています。

プレゼンテーション概要

- ・毎日のように情報漏洩問題が騒がれる中、社外の PC・携帯電話から社内データへのアクセスや社内データを PC に入れて持ち歩くことが、厳しい制限を受ける時代になりました。
そこで弊社では、セキュリティと生産性のバランスを保ちながら、重要情報の社外利用を安全にサポートする「DataPointer」を開発しました。
JDBC をサポートするデータベース、NOTES データベースに対して、モバイル環境での閲覧を可能にします。

プレゼンテーションの目的

- ・販売代理店募集

対象の業種・業態

- ・金融機関営業支援および製薬 MR 支援システムを構築されているシステムインテグレータ。
- ・介護系（ケアマネジャー向け）システムを構築されているシステムインテグレータ
- ・物流の配送員向けシステムを構築されているシステムインテグレータ。

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・携帯電話ユーザを考慮した場合、そのシステム開発に関する工数を削減し、LowCost & Speedy なデリバリーを可能にします。

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：有限会社フロンティア・オンライン
住 所：〒965-0832 福島県会津若松市天神町20番8号 メゾンコア黒岩1F
T E L：0242-26-2211
U R L：http://www.frontea.com/
設 立 年 月 日：2001年3月
資 本 金：3.5百万円
従 業 員 数：6名
事 業 内 容：ソフトウェア開発事業、ネットワーク事業、Webデザイン事業、コンシューマ向け
ソフトウェア開発・販売事業

ソフトウェアにかかる事業では、デジカメ Exif 解析・構築及びデジカメ Raw 現像アルゴリズム、PDF エンコード、QR エンコード等、弊社独自にコアエンジンを開発保有しており、これらをパッケージ向け商品に応用しているところです。今後、既ソフトウェア関連事業では、弊社独自エンジンの技術・コストの優位性を生かした応用製品への開発やその他企業様との提携を広めることが一つの努力目標であり、また、他方には、このようなソフトウェアのコア技術を持って、組み込み系に見られるようなハードウェア分野への応用を期待しております。

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

「デジカメ写真生活支援シリーズ」 / コンシューマ向け PC ソフトウェア、デジカメ関連商品

- 1) MediaRescue.R2 シリーズ (画像復元)
- 2) gavinci シリーズ (画像加工)
- 3) MediaAlbum! シリーズ (画像管理)
- 4) MediaSavior (メディア消去・フォーマット・バックアップ)

プレゼンテーションテーマ

・「デジカメ写真生活支援シリーズ」のご紹介と今後の取り組みについて

プレゼンテーション概要

- ・「デジカメ写真生活支援シリーズ」の既存商品について、現時点の最新情報をお伝えします。
- ・「デジカメ写真生活支援シリーズ」に関する弊社の今後のアプローチ、取り組みについてお伝えします。

弊社では、「デジカメ写真生活支援シリーズ」と総称し、デジカメに関連する様々な作業を PC ソフトウェアで解決していくツールを多種供給しており、将来、これを総合的にサポートできる目標で、商品体制等について日々発展的に検討しております。

2006 年春現在では、上記のように、デジカメ画像に関し、管理、加工をはじめ、復元に至る様々なニーズをサポートすべく商品を取り揃えており、これらは、全て自社開発によります。

ターゲットユーザが、比較的初心者向けであるため、一つ一つの商品は、より簡易的に、必要な機能を提供できることを念頭においておりますので、高度な技法を必要とせず、親しみやすさを追求した商品作りであると思っています。

今後、弊社では、「デジカメ写真生活支援シリーズ」に関するより総合的なサービスを提供すべく、Web ソリューションとの連携、デジタル家電 (マルチメディア系) への応用を行って生きたいと思っております。

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社	名：株式会社プロトン
住 所	〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-22-17 フジビル 26
T E L	：03-5337-6431
U R L	：http://www.proton.co.jp
設 立 年 月 日	：1995 年 11 月
資 本 金	：1,085 百万円
従 業 員 数	：97 名（2005 年 3 月末現在）
事 業 内 容	：ハードウェア、ソフトウェア及びネットワーク関連機器及びシステムの開発、 製造、販売、保守。コンピュータ及び電気、電子機器ならびに周辺機器、部品の販 売に伴う技術指導。ソフトウェアパッケージの輸出入及び販売。

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・ ImageGear (イメージギア) / 画像処理ソフトウェア開発ツール

プレゼンテーションテーマ

- ・ Visual Studio .NET でも使用可能な各種 API を持つ高速画像処理コンポーネント。ドキュメンティングを中心に様々な分野において高い信頼性が評価されています。

プレゼンテーション概要

- ・ ImageGear は、ImageGear は世界最高水準の画像処理ソフトウェア開発キットです。ドキュメンティングシステム、インターネットシステムをはじめとした様々な分野において高い信頼性が評価され、全世界で 5,000 万本以上の応用実績を誇っています。

画像・動画の処理、高圧縮高画質 JPEG2000 フォーマット対応、Barcode や OCR などの認識機能、PDF 画像ファイル編集が可能で、ActiveX 版と DLL 版に対応しています。

さらに、デジタルカメラに利用されている EXIF/IPCT 画像フォーマットや、画像ファイル(TIFF、JPEG、EXIF、PNG、IPTC)に含まれる非画像データ、ICC カラープロファイル、RAW ファイルフォーマットなどをサポートします。また画像処理以外にも QuickTime 動画ファイルの再生など複数のテクノロジーを搭載しています。

プレゼンテーションの目的

- ・ ImageGear は拡張性や連携機能のある開発ツールです。ドキュメンティングシステム、インターネットシステムと連携することにより、高度で独自性のある文書管理システムや、画像認識システムを構築してみませんか。ランタイムライセンス制により、継続的なメリットが提供できます。

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・ 画像システム関連製造・販売業、システムインテグレーター、制作会社

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 画像変換データ連携を行うことで、双方が持っている顧客を連携することができます。また、それにより単一製品よりも付加価値が高くなります。

販売業には、ランタイムライセンスにより、継続的な利益がもたらされます。

平成 18 年度 第 2 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ソフトアドバンス株式会社
住 所：〒011-0945 秋田市土崎港西3丁目8番16号 プラテアM105号
T E L：018-880-5245
U R L：http://www.softadvance.co.jp
設 立 年 月 日：2001年10月
資 本 金 (百 万 円)：37.45百万円
従 業 員 数：10名
事 業 内 容：ソフトウエアの開発・販売。IT化コンサルティング。

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
プレゼンテーション用ソフトウエア

プレゼンテーションテーマ

- ・ 3Dリアルタイムレンダリング技術を応用した、プレゼン用ソフトウエア
～「prezvision」は、プレゼンテーションのビジュアルに新しいスタンダードを提案します。～

プレゼンテーション概要

- ・ プレゼンテーションは、相手から何かを得るために行うものであり、成功するプレゼンのためには、相手の共感と納得の前提として、自分の考えを相手にきちんと伝えることが必要です。
このソフトは、これまでスライド切り替えで行っていたプレゼンテーションビジュアルに、3Dと自動アニメーション、すなわち空間と時間を装備し、簡単に使えるようにしました。
これまで伝えるに良かった自分のイメージを、情報の次元を落とすことなく相手に伝えることができます。

プレゼンテーションの目的

- ・ このソフトウエアの販売にあたって、パートナーシップを組んでいただける企業様を探しております。
- ・ 弊社は典型的なソフトウエア開発ベンチャーであり、販売チャネル、プロモーションノウハウ、実際に動ける人的資源、資金など、このソフトウエアを世界に羽ばたかせるためのあらゆる経営資源が不足しております。これらをカバーでき、一緒に夢を見てくれるパートナーを探しております。

対象の業種・業態

- ・ コンシューマ向けパッケージ開発・販売会社様
ノートパソコンメーカー様
グラフィックスチップメーカー様 (ATI, NVIDIA等)

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ ソフトウエア販売による利益のシェア

平成 18 年度 第 3 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：オフィス アメイジング株式会社
住 所：〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町3-4-9 旭洋ビル5F
T E L：06-4706-4646(代)
U R L：http://www.office-amazing.com
設 立 年 月 日：2000年10月
資 本 金 (百 万 円)：26百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：1) ソフトウェアパッケージ事業
マルチプラットフォームでの DAM 製品の開発と販売
DB サーバー内のフォーマット検索エンジンの開発と販売
2) 通信と放送融合事業
テレビ局用 HD サービス放送でのリアルアンケート集計システム ASP
SD映像による保存映像の静止画抽出の開発 (印刷物適応用)

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

「AMASS for portfolio」/ スモールオフィス用 DAM 製品

プレゼンテーションテーマ

- ・アナログも含めた情報整理と共有財産化された会社内のドキュメント利用方法

プレゼンテーション概要

- ・20名くらいのワークグループ (スモールオフィス) 環境でOSに依存せず、ファイルサーバー上にあるドキュメントを含んだデジタルデータと複合機のスキャナー部分を利用することで汎用のPDFをOCR化し、デジタルデータと同じように活用することが出来る。多くのオフィスには複合機があるがそのスキャナー部分の利用はあまりされていない。またプリンターの利用状況は増えているがコピー活用は延びていない。80%以上の確立でオフィスにある複合機を社内のワークフローとジョイントさせることの出来る製品の紹介

プレゼンテーションの目的

- ・現状はOEMとして出荷しているが、複合機の横に置くだけで社内のワークフローに入れる商品を開発している弊社にとってもっと拡販できる販社様とのコラボや必要なオプション情報が欲しい。特にこの商品のLOWプライス製品を考えている。

対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)

- ・販売会社・(教育現場用のニーズ・イントラのみで利用できる会社・広報室、総務で扱う社外へのロゴや資料管理など)

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ソフトのバンドル製品として筐体を含めたソリューションのために、現場でのインストールが必要ないこと。また、サポートはセンドバック方式ですが、ファイルサーバーを持たないために万が一の時でもデータは別筐体にある。つなぐと自動的に同期を取ってファイルを表示する方法なので、設置のみで利用できる。また周辺機器などでファイルサーバーやストレージ：NASなどの商品が必要となる。また特定の複合機のみではなく各社の機器に対応している。

平成 18 年度 第 3 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アズベース
住 所：〒107-0062 東京都港区南青山1-20-2 乃木坂ビジネスコート1F
T E L：03-5785-0797 (090-9979-0621)
U R L：http://www.asbase.jp
設 立 年 月 日：2006年1月
資 本 金 (百 万 円)：3百万円
従 業 員 数：1名
事 業 内 容：IT コンサルティング、および、業務パッケージの販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

・中小企業向け **業務支援グループウェア ASP サービス BizBase**

プレゼンテーションテーマ

・従来のグループウェアを超えた、**情報共有ツールを ASP サービスにて提供**

プレゼンテーション概要

・従来、中小企業は IT 投資額が小さく、独自のシステムを開発することは困難であり、そのため、パッケージ製品の導入や、ASP サービスを利用しています。

ただし、パッケージ製品を導入する場合、機能の不足が目立ったり、また、システム管理者がいないなどの問題があります。また、ASP を利用する場合は、カスタマイズができないなどの問題を抱えています。

ご説明する業務支援グループウェア BizBase は以下の特徴を持ちます。

- ・従来のグループウェアに加えて、勤怠管理、経費精算、交通費精算、ワークフローなどの業務支援機能を持っており、十分な業務支援が可能です。
- ・ASP サービスでありながら、カスタマイズを可能とする柔軟な設計構造になっております。利用ユーザは自社のニーズに合わせて、利用機能を細かく取捨選択することができ、また、各社ごとのカスタマイズの対応も可能です。
- ・OEM 製品を前提としており、販売代理店様のニーズにあわせた課金体系が可能です。

プレゼンテーションの目的

・販売代理店募集。

販売代理店募集としては、従来より顧客企業様にネットワークを通じてサービスを提供されている企業様を想定しております。(データセンター様、レンタルサーバ様、ポータルサイト様、プロバイダ様、Sier 様など)

対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)

・特に業種、業態を問いませんが、企業規模は比較的小さい企業 (従業員数 50 から 100 名程度) を想定しています。

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・良質なビジネスコンテンツの確保。
- ・ビジネスユーザの取り込み。
- ・他社サービスとの差別化。

平成 18 年度 第 3 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 カイエンシステム開発
住 所：〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-27-7 ワコーレ幡ヶ谷ビル 4F
T E L：03-5333-5586
U R L：http://www.caien.co.jp
設 立 年 月 日：1991年8月
資 本 金（百 万 円）：63.5百万円
従 業 員 数：28名
事 業 内 容：DB技術、Web/Java技術をコアとし、インターネット技術利用アプリケーション開発、インターネット対応携帯電話利用のアプリケーション開発に特化した事業領域の開発。
【今後の展開】インターネット対応携帯電話のビジネス活用を中心テーマとした 21 世紀型のモバイル・ナレッジ・オフィス構築のためのソフトウェアの提供。
【開発形態】上記テーマの受託ソフト開発、自社開発のパッケージソフトの開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・ASP 提供が可能な CRM ソフト

プレゼンテーションテーマ

- ・ASP による「BizMagic CRM Lite」の導入利用について
現場志向のシステム BizMagicCRM によるメリット及び P・D・C・A サイクルの実現について

プレゼンテーション概要

- ・「BizMagic CRM Lite」の導入によるメリット及び P・D・C・A サイクルの実現について
 1. 企業経営にとって顧客を知る事はビジネスの基本であり利益追求の必須課題であるにも拘らず、顧客情報の収集や、共有化等の情報の有効利用が適切になされていないのが実情であり、これ等の問題解決策として、簡便・廉価で、高機能な IT ソリューションパッケージ「BizMagic CRM Lite」の導入についてそのメリットや導入事例を含めて紹介する。
 2. 顧客情報管理システムがあって P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) の営業活動工程を廻していく事が可能であり、この P・D・C・A サイクルを実現するための IT ソリューションパッケージ「BizMagic CRM Light」を紹介する。

プレゼンテーションの目的

- ・販売代理店の募集、「BizMagic CRM Lite」の自社導入新規顧客開拓、
「BizMagic CRM Lite」及び当社の PR

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・製造業、流通、商社、販売、医療機器、S I e r、ソフト開発、サービス、旅行、金融、保険、証券その他

アライアンス対象の相手企業のメリット

平成18年度 第3回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：IT-GENESIS株式会社
住 所：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-1-10 エスエイチビル3F
T E L：03-5466-6546
U R L：http://www.it-genesis.jp
設 立 年 月 日：2003年7月
資 本 金（百 万 円）：10百万円
従 業 員 数：社員8名、その他15名
事 業 内 容：ソフトウェア開発（インド人技術者による常駐型ソフトウェア開発/1000人規模対
応）、データベースコンサルティング、技術者教育（インド）、パッケージ開発、
技術者派遣

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品/サービスの分類

- ・ **JAVA プログラム自動生成ツール**

プレゼンテーションテーマ

- ・ **JAVA プログラムを自動生成して人材不足解消&開発コスト大幅削減**

プレゼンテーション概要

- ・ このツールを使用することによって、4人程度のプロジェクトの場合1人分の人件費が全く必要なくなってしまう。さらに、システムの改変があった場合にも簡単に変更作業ができてしまうので、メンテナンスコストも大幅に削減できます。

プレゼンテーションの目的

- ・ 販売代理店・ソフト購入企業募集

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・ ソフトウェア開発会社

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ ソフト販売による利益、開発コスト大幅削減、技術者不足解消

平成 18 年度 第 3 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社いいじゃんネット
住 所：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-20 平河町ビル 1階
T E L：03-3239-5201
U R L：http://www.e-jan.co.jp/
設 立 年 月 日：2000年3月
資 本 金（百 万 円）：30百万円
従 業 員 数：18名(含む非常勤・派遣・アルバイト)
事 業 内 容：モバイル通信製品「CACHATTO」の開発・販売・運用

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
「CACHATTO」(カチャット) / オールインワン・ビジネスモバイルプラットフォーム
携帯電話およびモバイルPC から場所と時間に関わらず社内データを安全に活用できます
プレゼンテーションテーマ
- ・ **モバイルアクセスにおける安全性と利便性を提供する CACHATTO の紹介**
 - ・ CACHATTO の販売およびフランチャイズ展開について
プレゼンテーション概要
 - ・ 会社案内
 - ・ CACHATTO 製品説明 / 競合状況
 - ・ ビジネスモバイルにおける安全性と利便性の両立手法
 - ・ 技術上のポイント
 - ・ 採用実績 / 事例
 - ・ 提供価格
 - ・ アライアンスの希望形式
プレゼンテーションの目的
 - ・ 製品の販売パートナー、案件のご紹介機会を増やす (代理店など)
 - ・ 製品の OEM パートナーの探索を行う (OEM パートナー)
対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)
 - ・ ユーザー：業種・業態を問わない
 - ・ 代理店：SIer、ソフト販売代理店
 - ・ OEM 先：データセンター、企業グループシステム統括会社、インターネットプロバイダーなど
アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・ ユーザー：安全なビジネスモバイル環境の利用が可能
 - ・ 代理店：先進企業 60 社に採用実績がある製品の販売、ドア・オープナーとしての利用
 - ・ OEM 先：自社提供サービスのラインアップ拡大
- ・ Manual Action は、費用対効果を考慮すると製品の操作マニュアルの作成ツールや教育用素材として E-Learning 等に活用に向いております。各種製品メーカーには、十分開発コストや運用コストの削減が期待できます。

平成 18 年度 第 3 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社サイバーネットソリューションズ
住 所：〒135-8071 東京都江東区有明3丁目1番地 T F Tビル東館9階
T E L：03-3599-7580
U R L：http://www.cybernet-sol.com/
設 立 年 月 日：2004年11月
資 本 金 (百 万 円)：10.2百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：ソフトウェア開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
プロジェクトマネジメントソフトウェア用エンジン

プレゼンテーションテーマ
プロジェクトを成功させる為のPMツール用エンジンとは
～NPAI(New Pmbok Analysis and Integration)エンジンのご紹介～

プレゼンテーション概要

現在の日本企業が国際競争の中で生き抜くには、定型業務の対に位置するプロジェクト型業務をいかにうまく成功させ、刻々と変化する経済情勢に瞬時に対応する企業体質への変革が求められています。プロジェクトとは未経験の独自の目的を期限内に実施する活動であり、失敗するリスクが非常に高いものです。欧米では、いち早くプロジェクトマネジメントに関する研究、体系化が進んできました。しかし、日本のプロジェクトでは、現場の経験法則に基づく属人的な管理が現在も用いられているのが現状で、その結果多くのプロジェクトで障害が発生し、企業活動に様々な陰を落としていると言っても過言ではありません。しかし、現在の日本にはこの現場の経験法則に基づく属人的な管理も必要である文化なのです。

弊社は、欧米式プロジェクトマネジメントをそのまま取り入れるのではなく、互いの良い部分を取り入れ開発することを重点に置きました。

弊社 NPAI(New Pmbok Analysis and Integration)エンジンは、

2 系統の階層構造を用いたプロジェクトマネジメントの進捗管理データベース構造

3 つのデータベースを使用し、P D C A を忠実に実行するための日報管理システム

管理者が日常的な管理業務で容易に進捗管理が可能な作業達成度判定システム

を一つのシステムとして連携させることで、日本的なPMツール用エンジンを完成させました。

プレゼンテーションの目的

現在、NPAI エンジンを応用し建設業向け工程原価最適化管理システム『ProBuilder R1』をリリースし、より使いやすいユーザーインターフェースの開発、他社システムとの連携に力を注いでおります。また、NPAI エンジンを応用し医療工程原価管理システムの開発にも着手致しました。今回のプレゼンでは

販売代理店の募集、アライアンス企業の募集を目的としています。

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ニューフォレスター
住 所：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 産学リゾン共同研究センター-307
T E L：029-853-5835
U R L：http://www.newforestar.com/
設 立 年 月 日：2005年2月16日
資 本 金 (百 万 円)：9.6百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：コンピューターソフトウェアの研究開発。インターネットテレビジョン放送事業及び有線ラジオ、放送事業営業やコンテンツの製作、配信業務。

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・「PrezenStation」(プレゼンステーション) / コンテンツ作成ソフト

プレゼンテーションテーマ

- ・眠るセミナー資産を経営資源に変える！ ～情報発信ツール「PrezenStation」のご案内～

プレゼンテーション概要

- ・多くの企業が行っているプレゼンやセミナーが少人数への公開のみで終わっています。公開するつもりで記録を取っていても、処理の手間を惜しみそのままお蔵入りしたり、その処理に時間やお金をかけていたりします。利益を生み出す資源になりうるプレゼンやセミナーを有効利用するために、それらを簡単に動画配信コンテンツにできるソフトをご案内します。

プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)

{ 1 } { 2 } { } { }

販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >

- ・販売代理店募集。
- ・総合ソリューションとしてお互いの製品を持ち寄るパートナーの募集。

対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)

- ・ソフトウェア販売企業。
- ・ITコンサルティング企業。
- ・金融関係、IR関係企業。

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・商品力の強い販売商材の確保ができます。
- ・情報発信サイトの構築ができます。

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ピーエスシー
住 所：〒105-0011 東京都港区芝公園2-2-18 オーク芝公園ビル
T E L：03-5408-5156
U R L：http://www.psc-inc.co.jp/
設 立 年 月 日：1996年9月
資 本 金（百 万 円）：187.8百万円
従 業 員 数：385名
事 業 内 容：【ソリューションプロバイダー事業】ASP事業、MSP事業、SI事業
【メディアコミュニケーション事業】サイトブランディング、メディアレップ、e
コマースサイト運営
【ITサービス&アウトソーシング事業】システム運用保守、キッティングサービス
、ロジスティクスサービス、コンタクトセンタ

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・商品名：P-BERRY（ピーベリー）/ Exchange Server の ASP サービス
プレゼンテーションテーマ
- ・Exchange Server をベースとしたメール型グループウェア ASP サービス「P-BERRY」のご紹介
プレゼンテーション概要
- ・弊社ピーエスシーでは、より簡単に IT サービスをご利用頂くために、この度世界シェア No1 メッセージング製品である Microsoft Exchange Server の ASP サービス【P-BERRY】の販売を開始致しました。従来 Exchange Server は高い導入費用が必要になることから大企業、中堅企業を中心に採用されている製品ですが、マルチテナント型ホスティング基盤の採用により、低価格で高品質な ASP サービスを実現致しました。
P-BERRY により電子メールを中心として、スケジュール管理、TODO 管理などの情報共有のベースとなる機能を、どこからでも安全にご利用できるよう最適化された環境でご利用頂けます。
本プレゼンテーションでは、業務提携によるアライアンスパートナー様のメリットを中心にデモンストレーションを交えご紹介させていただきます。
プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
〔 1 〕 〔 2 〕 〔 〕 〔 〕
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >

1. 販売代理店様を募集致します。
2. 主にホスティング / ASP 商材など P-BERRY との組み合わせることで、相乗効果が望める商材をお持ちの企業様との技術提携を希望致します。
対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
 - ・中小規模企業へシステム提案、販売をされている企業
 - ・モバイルソリューションを取り扱う企業、及びモバイル端末のメーカー
 - ・ネットワーク回線や Web サービスなどを販売されている企業アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・既存のビジネス + @ のサービスを簡単に提供することができます。
 - ・顧客の深耕、新規顧客の獲得にご利用頂けます。
 - ・関連商材へのアップセルが見込めます。

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名： イーズ・コミュニケーションズ株式会社
住 所： 〒106-0047 港区南麻布2-12-7 南麻布TMDビル4F
T E L： 03-5427-5977
U R L： http://www.i-ze.com
設 立 年 月 日： 2001年3月22日
資 本 金 (百 万 円)： 80百万円
従 業 員 数： 20名
事 業 内 容： 今まで情報利用の大きな障壁となっていた部門・場所・システムの違いを乗り越え、社内に蓄積されている貴重な情報資産を「誰でも」、「安全で」、「簡単に」活用できるようにする、「情報資産運用基盤」構築ソフトウェアの開発・販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
「影郎 / セキュアポケット PC」 / 情報漏洩対策ツール
プレゼンテーションテーマ
データが流出しても、情報は漏らさない。
～ 「パスワード × 暗号化 × 分割」が実現する、セキュリティの新しいカタチ「影郎 / セキュアポケット PC」のご紹介～

プレゼンテーション概要

個人情報や機密情報の漏洩が大きな社会問題となっていますが、その原因のおよそ 70% は PC の盗難や紛失・置き忘れなど、突発的な人的漏洩が占めています。また最近では Winny / Share 等のファイル交換ソフトに蔓延する暴露ウイルスによる情報漏洩も猛威を振るっていますが、このような状況には、「データの流出を抑止する」従来のセキュリティ・ツールでは対処できません。

影郎 / セキュアポケット PC は、仮に「データが流出しても価値のある情報として復元させない」という、フェイルセーフ思想に基づいたセキュリティ・ツール。この度のプレゼンでは、影郎 / セキュアポケット PC の開発思想と機能のご紹介に加え、実際の利用方法をご覧ください。

プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)

{ 1 } { 2 } { } { }
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >

1. 影郎 / セキュアポケット PC の取り扱い代理店の拡大
 2. 影郎エンジンを使った S I ベンダーの発掘
- 対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)
- ・業種・業態を問わず、全ての分野を対象としています。
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・手離れの良いセキュリティ商品のラインナップ拡大
 - ・セキュリティエンジン (A P I) 提供による S I 力の強化

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：サイバーソリューションズ株式会社
住 所：〒104-0033 東京都中央区新川2-20-7 TOKOH BLDG
T E L：03-5542-2710
U R L：http://www.cybersolutions.co.jp/
設 立 年 月 日：2000年1月13日
資 本 金（百 万 円）：255.6百万円（資本準備金含む）
従 業 員 数：18名
事 業 内 容：インターネット・イントラネットに広がるポータルサイトで動作するパッケージの
企画 / 開発 / 販売情報セキュリティ関連パッケージの企画 / 開発 / 販売等

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
「Cyber Blog」 / 情報共有ツール イントラブログ

プレゼンテーションテーマ

・最新情報共有ツール！「Cyber Blog」～見えなかった知識が見えて来る!？～

プレゼンテーション概要

・今や、90%以上の認知度があるブログを社内で活用するために開発されたイントラブログ。社内で有効に活用できるのか？導入すると何が良いのか？活用するためにはどうすれば良いのか？を、サイバーソリューションズ的にズバッと解説するとともに、新しく発売したイントラブログ製品「CyberBlog」をご紹介します。

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）〔 1 〕

〔 〕 〔 〕 〔 〕
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >

販売代理店募集

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

・販売代理店

アライアンス対象の相手企業のメリット

・多くの企業で求められている情報共有ツールを扱うことにより、魅力的な提案商品が増えるというメリットがあり、既存取り扱い製品と組み合わせることができれば、より強力なソリューションを揃える可能性がある。

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社グローバルテクノ
本 件 担 当 者：業務統括部長 齋藤 武
住 所：〒160-0015 東京都新宿区大京町25番地 新宿菅井ビル7階
T E L：03-3353-8659
U R L：http://www.global-techno.co.jp
設 立 年 月 日：1997年9月30日
資 本 金（百万円）：60百万円
従 業 員 数：10名（契約社員7名含まず）
事 業 内 容：ソフト開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・「SPRINGER 3.0」 / 情報セキュリティソフト

プレゼンテーションテーマ

- ・コンプライアンス準拠に向けた情報セキュリティの見える化の提案

プレゼンテーション概要

- ・Web証跡取得システム(金融商品取引法・J-SOX法等対応)

社内システムの情報漏洩リアルタイム監視を行い、Webのアクセス証跡を取得しXML対応ログに確保します。

- ・Web業務処理のトレースを行い、圧縮・暗号化してログに確保し、そのログを元にして実際にアクセスされた画面、データを再現表示させることができる。証跡ログの閾値設定が可能で、リアルタイムのアラートが可能です

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）

{ 1 }	{ }	{ 2 }	{ }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 具体的な内容 >

世界に例を見ない日本製の Web 証跡トレース技術を紹介し、組み込み（ミドル）ソフトとして広く国内外に販売提携及び資本提携を求める。

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

コンプライアンスや情報セキュリティに特化しているシステム開発企業やコンサルタント会社。

平成 18 年度 第 4 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：フリービット株式会社
住 所：〒150-0044 東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー13F
T E L：03-5459-0522（代表）
U R L：http://www.freebit.com/
設 立 年 月 日：2000年5月1日
資 本 金（百 万 円）：1,396百万円
従 業 員 数：77名（2006年5月1日現在）
事 業 内 容：インターネットビジネス支援事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・ Emotion Link ASP サービス / ソフトウェアVPNのASPサービス

プレゼンテーションテーマ

- ・ Emotion Link / ASP をベースとしたサービス展開のご紹介

プレゼンテーション概要

端末に専用ソフトウェアをインストールしたり、専用の小さなボックスを接続するだけで、その端末同士が、インターネット上にできた仮想的なもう1つのネットワーク上で NAT や接続環境に依存することなく、セキュアな双方向通信をおこなうことを可能にする

「Emotion Link」

この Emotion Link のプラットフォームをベースに展開されるビジネス・ソリューション例を中心にサービスの内容をご紹介させていただきます。

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）

{ 1 }	{ 2 }	{ }	{ }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 具体的な内容 >

- ・ Emotion Link プラットホーム提供によるOEMモデル、販売代理店募集
- ・ Emotion Link プラットホームと組み合わせることでシナジー効果の期待できるアプリケーションをお持ちの企業様との協業

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）

- ・ 多店舗展開企業（小売・外食・サービス等）へシステム提案、販売されている企業
- ・ リモートアクセス対応の業務アプリケーションご提案企業
- ・ 認証、セキュリティ、監視関連アプリケーションご提供企業
- ・ モバイル端末メーカー

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 既存のビジネスに加え、顧客の要望するネットワーク部分までワンストップでご提供できサービス領域の拡大が図れます。
- ・ 新しいASPサービスの提供、ストック型ビジネスの創造に寄与します。
- ・ 認証、セキュリティ、監視 関連アプリケーション、サービスの差別化、商品力強化。

平成18年度 第5回

プレゼンテーション企業会社概要

会社名：TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社
本件担当者：先端技術ビジネス本部 システム技術事業部 企画担当 鈴木 英幸
住所：〒150-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番6号
TEL：03-3350-8111
URL：http://www.tdc.co.jp
設立年月日：1963年12月
資本金：970百万円（平成18年4月1日現在）
従業員数：1,067名（平成18年4月1日現在）
事業内容：1.情報化に関する調査研究
2.システムインテグレーションサービス
3.コンピュータソフトウェアの開発、販売、賃貸、および輸出入
4.情報機器並びにそのシステムの設計、開発、販売および賃貸
5.情報処理サービス、情報提供サービス、情報通信サービス、およびシステム監査サービス
6.情報科学及び情報処理システムに関する出版、販売並びに教育訓練
7.前各号に付帯関連する一切の業務

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品/サービスの分類
・「楽照名人」/システム開発者・SE向けデータベース照合・編集ツール

プレゼンテーションテーマ
・プログラムレスによるデータベース開発・保守の生産性向上をご提案

プレゼンテーション概要
金融系など、データ同士の整合性が重要となるシステムの場合、月次集計を行った直後のタイミングで、2つのデータベースの間でデータの集計値に矛盾が無いことを確認する「照合機能」を必要とするケースがあります。
楽照名人は、この照合機能をメインに、データベースのレコードの編集をプログラムレスで実現し、システム開発・保守の生産性向上に貢献します。

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
〔 1 〕 [] [] [2]
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >
購入企業の募集・他製品との連携や共販など販売促進面のアライアンス

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
・データベースを取り扱うシステム開発者・SE向け（特に金融系のシステム開発企業）

アライアンス対象の相手企業のメリット
・弊社とアライアンスを組むことにより、特にモバイル関連・公共関連・パッケージの分野での連携を通じて、ビジネス領域の拡大・相互の開発力向上が期待されます。

平成 18 年度 第 5 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社jig.jp
住 所：〒160-0022 東京都新宿区新宿2-8-6アクセスビル2F
T E L：03-5367-3891
U R L：http://www.jig.jp/
設 立 年 月 日：2003年5月28日
資 本 金（百 万 円）：62.25万円
従 業 員 数：24名
事 業 内 容：携帯電話に関するアプリケーションの企画・開発・販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
- ・jig ムービー / バケット通信動画配信プラットフォーム
<http://movie.jig.jp/>
- プレゼンテーションテーマ
- ・jig ムービーのご紹介、ムービーを利用したビジネスの拡大（仮）
- プレゼンテーション概要
- ・jig ムービーのご紹介と、携帯ムービー市場の概要についてのご説明。
携帯向け動画配信市場におけるビジネス発展の可能性。
- プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| [1] | [2] | [] | [] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 具体的な内容 >
- [1] 販売提携
- jig ムービーパッケージの販売提携
 - jig ムービーソフトウェアを利用した共同ソリューション提供に関する提携
- [2] 技術提携
- jig ムービー技術向上のための提携
 - jig ムービーソフトウェアを利用した共同ソリューション開発に関する提携
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・ソフトウェア開発、SI、コンテンツ流通、携帯コンテンツプロバイダー
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・現在伸びている携帯市場でのビジネスチャンス提供

平成 18 年度 第 5 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：PFUライフビジネス株式会社
住 所：〒194-8510 東京都町田市鶴間658-1
T E L：042-788-7721（直通）
U R L：http://www.pfu.fujitsu.com/plb/
設 立 年 月 日：1995年7月21日
資 本 金：50百万円
従 業 員 数：126名
事 業 内 容：資産管理サービス・電子文書化サービスなどを提供する「ITサービス」、OA機器・サプライ品などを提供する「オフィスサービス」、OA機器運搬・設置などを行う「物流サービス」、OA機器の処分（分別・リサイクル）を行う「リサイクルサービス」、オフィスリニューアル工事・展示会ブース構築などを行う「IT設備施工サービス」、など。

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品／サービスの分類
・ソフトウェア資産管理（SAM）

プレゼンテーションテーマ
・IT内部統制とソフトウェア資産管理～ソフトウェア資産管理アドバイザー～

プレゼンテーション概要
・ソフトウェア資産管理は、ISO/IEC 19770として国際規格化され年4回の監査の施行が必要となります。適正な運用にあたり、セキュリティ対策済みのソフトウェア資産管理台帳の情報維持が必要となり運用管理者の業務負担がますます増大します。
・膨大なソフトウェアライセンス管理対象製品のコンプライアンス遵守のためのIT内部統制のインフラ部分を後方支援する「ソフトウェア資産管理アドバイザー」をご紹介します。

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）

{ 2 }	{ 1 }	{ }	{ }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 具体的な内容 >。

・IT資産管理ツールと「ソフトウェア資産管理アドバイザー」との連携によるベンダ/Sierとの協業。

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
・ソフトウェア資産管理のシステム化を検討されている企業

アライアンス対象の相手企業のメリット
・「ソフトウェア資産管理アドバイザー」とIT資産管理ツールとの連携により、効率的かつ精度の高いソフトウェア資産の運用管理効果が期待できます

平成 18 年度 第 5 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アグレックス
住 所：〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-5-2 佐藤ビル5F
T E L：03-5338-8701
U R L：http://www.agrex.co.jp/
設 立 年 月 日：1965年9月9日
資 本 金：1292.19百万円
従 業 員 数：1,411名
事 業 内 容：情報サービス業

アライアンスビジネス研究会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類

- ・Cyber ID Meister (サイバーアイディマイスタ) / IT ガバナンスのためのアカウント統合管理ソリューション

プレゼンテーションテーマ

- ・内部統制時代のアカウント統合管理ソリューション

プレゼンテーション概要

- ・内部統制時代の IT ガバナンスを支えるアカウント管理の最適なあり方をご紹介します

プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)

{ 1 } { 1 } { } { }

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 具体的な内容 >

- ・自社導入、顧客への提案。

対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)

- ・業種、業態は問いません。
管理が必要な ID 数が 1000 を越すような企業全般、あるいはそうした企業のシステム構築を委託される開発会社を対象としています。

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・当製品は導入前に必ず各ユーザー向けのカスタマイズが必要となります。
その開発を依頼することでの協業を考えております

平成 18 年度 第 5 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ベーシック
住 所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-30-4（30山京ビル）
T E L：03-3204-2241
U R L：http://www.basic.co.jp
設 立 年 月 日：1982年9月13日
資 本 金：50百万円
従 業 員 数：130名
事 業 内 容：ソフト開発、SI ソリューション、パッケージソフト販売など

アライアンスビジネス研究会発表内容

プレゼンテーションする製品 / サービスの分類
・UC-Key (USB キーソリューション) / ライセンス管理、アップデートツール

プレゼンテーションテーマ
・USB キーを利用したライセンス管理。運用コスト削減。

プレゼンテーション概要
・UC-Key の機能説明、メリット、事例、導入までのプロセス、費用など

プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)
〔 1 〕 〔 2 〕 [] []
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

< 具体的な内容 >
パッケージソフト開発販売業所有のパッケージソフトとのバンドル

対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)
SSL-VPN 及びリモートアクセス利用の企業全て。
シンクライアント導入検討企業。
パスワード運用ポリシーに苦勞されている企業。

アライアンス対象の相手企業のメリット
・ソフトウェアを利用しているエンド企業の情報システム担当者の負担軽減
・運用費用の軽減など

平成 18 年度 第 5 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社グリーンキャット
住 所：〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 サンケンビル3F
T E L：03-3235-2547
U R L：http://www.greencat.co.jp/
設 立 年 月 日：1984年8月1日
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：60名
事 業 内 容：システム開発、電子文書管理コンサルテーション、出版事業
プレゼンするプロダクトは、データデザイン(株)社との協業事業。

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・PDF 加工ツール / 「SpeedLinker」「MaskChecker」
- プレゼンテーションテーマ
- ・PDF 加工の高速化・高品質化による、文書管理の効率化
- プレゼンテーション概要
- ・PDF ファイルのリンク作成・チェックを効率化するツールである SpeedLinker 及び PDF ファイルから個人情報等をマスクするツール MaskChecker のご説明を行い、デモをご覧頂きます。
- プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| { 1 } | { } | { } | { } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 具体的な内容 >
- 顧客への文書管理システム共同提案
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・製造業、製薬業、マニュアル作成業等、PDF ドキュメントを作成・管理している業態
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・弊社とのアライアンスを組むことにより、相手企業の得意分野とドキュメント管理システムとの融合を通してお互いの事業領域の拡大が期待できます。

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：日本スーパーマップ株式会社
住 所：〒105-0014 東京都港区芝2-13-4 住友不動産芝ビル4号館9F
T E L：03-5419-7912
U R L：http://www.supermap.jp/
設 立 年 月 日：2000年7月25日
資 本 金 (百 万 円)：151.5百万円 (2007年1月1日現在)
従 業 員 数：20名 (2007年1月1日現在)
事 業 内 容： 空間情報ソリューション (SuperMapGISプロダクト：C/S、B/S、モバイルデバイスに対応した開発キットとランタイムの販売等)
空間データエンジニアリング

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・GIS / 『SuperMapGIS』
空間情報、位置情報をキーとするアプリケーション開発を行うための SDK
- プレゼンテーションテーマ
- ・「SuperMapGIS」で実現する空間情報アプリケーション開発
- プレゼンテーション概要
- ・空間情報、位置情報を使ったアプリケーションの事例 (SuperMapGIS の活用事例) を紹介し、「SuperMapGIS」とは何なのか、アプリケーションをどのように開発するのか、SuperMapGIS の何が良いのかなどについて説明します。
- プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| { } | { 1 } | { } | { 2 } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 具体的な内容 >
- ・空間情報、位置情報のアプリケーション開発のために、SuperMapGIS を導入していただき、製品サポートを始めとする開発支援を弊社が行う形で連携させていただきたいと考えます。
- 対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)
- ・施設管理・移動体管理 (GPS)・エリアマーケティングなどの民間分野、防災・観光などの公共分野に展開中、または展開を考えている Sier の皆様
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・高い性能、開発の容易さ、リーズナブルな価格の SuperMapGIS を、弊社の開発支援と併せて導入いただくことで、新たに空間情報ソリューションビジネスに展開したり、既存のソリューションをさらに強固にできるものと考えます。

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社デジタルコミュニケーションズ
住 所：〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-33三洋ビル2F
T E L：03-5733-9566
U R L：http://www.sgml-xml.jp/
設 立 年 月 日：1998年1月22日
資 本 金 (百 万 円)：90百万円
従 業 員 数：10名
事 業 内 容：XMLシステム、ツール開発

アライアンスビジネス研究会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- XML コンバータ/『Word 2 XML』(単体製品、ミドルウェア)
(日常の MS-Office 作業が XML 化と一体化している製品)
プレゼンテーションテーマ
 - Word 2 XML の活用と展開事例
プレゼンテーション概要
 - Word 2 XML の活用事例を説明することで、デジタルコンテンツの基本フォーマットとしての XML の重要性、事業性を理解していただく。その XML の作成を特別のスキルや作業ではなく、日常の業務の中から意識することなく生成できるツールとしての Word 2 XML、Excel 2 XML の事業開拓の展望と提携を提案したい。
プレゼンテーションの目的 (目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください)
[1] [] [2] [3]
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携
- < 具体的な内容 >
- Word 2 XML の可能性と事実を通して販路拡張のための提携提案
可能性の評価と確認の議論提案
対象の業種・業態 (聴講企業外の会員企業)
- 文書管理、コンテンツ管理システム提供企業《製品開発、SI》
 - コンテンツサプライア《出版》
 - 企業内文書作成ツール提供企業《開発文書管理、マニュアル作成》
 - デジタル家電ソリューション提供企業
(企業内商品開発者向け文書ツールを提供している企業に是非。NGNを介して家庭生活へ提供されるデジタル家電時代のコンテンツ = XML を容易に生成できる。弊社に不足している、営業力、ブランド力、資金力を提携によって補強。)
アライアンス対象の相手企業のメリット
 - デジタル家電時代のコンテンツ = XML はエンタメ系コンテンツだけでなく、製品マニュアルやユーザーサポート情報として安価に提供できる。
 - 企画、設計等の通常作業で使用している MS-Office がそのまま XML として知的資産化され、WEBコンテンツとして流通できる。

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社サイワークス
住 所：〒162-0054 東京都新宿区河田町 3-51 東急VR 41階
T E L：03-5367-4670
U R L：http://www.sciworks.co.jp/
設 立 年 月 日：2003年4月10日
資 本 金（百 万 円）：約117百万円
従 業 員 数：8名
事 業 内 容：CIO支援コンサルティング、営業支援パッケージの販売及び導入コンサルティング

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・ナレッジマネジメント、SFA（営業プロセス管理型） / 『SKMS』、『営業の匠』
- プレゼンテーションテーマ
- ・営業の現場力を向上する「見える化マネジメント」
- プレゼンテーション概要
- ・現場の知恵や行動を見える化し、さらに見える化した内容をマネジメントに活かすことで現場力を向上する、「見える化マネジメント」について説明します。
また、「見える化マネジメント」実現のための、ナレッジ見える化手法「SKMS」とSFA製品「営業の匠」を紹介いたします。
- プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| { 1 } | { 2 } | { 3 } | { } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 具体的な内容 >
- ・当社の営業マネジメント思想に共感いただける企業様に、弊社 SFA 製品「営業の匠」の代理店になっていただきたいと考えております。
 - ・「営業の匠」のバージョンアップに向けて、システム連携や開発委託など、技術的な提携先も検討中です。
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・IT パッケージ開発・販売事業
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・多数の取扱商品を有する IT 開発・販売会社がありますが、いずれとも異なる弊社の SFA をお取扱いいただくことにより、ビジネスの幅が広がるとともに、既存取扱商品と組み合わせることで、高付加価値のソリューションを組み上げていただくことができると考えます。

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：エニーユーザー株式会社
住 所：〒106-0032 東京都港区六本木1-4-30 六本木25森ビル8F
T E L：03-5545-1781
U R L：http://www.anyuser.co.jp/
設 立 年 月 日：2002年7月18日
資 本 金（百 万 円）：660.20百万円（2006年12月1日現在）
従 業 員 数：30名
事 業 内 容：インターネット電話及びコンテンツサービス提供
1. 法人向けインターネット通話サービスの提供
2. 個人向けインターネット通話サービスの提供
3. システム構築受託・ライセンス供与

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類
IP-Phone / 業所向け IP セントレックスシステム『のぞみ電話サービス』

プレゼンテーションテーマ
商品説明および販売プログラムのご紹介

プレゼンテーション概要
当社新サービス『のぞみ電話サービス』のデモンストレーション、商品説明、販売プログラムのご紹介

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）

{ 1 }	{ 3 }	{ 2 }	{ }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 具体的な内容 >

{ 1 } 販売代理店募集、{ 2 } 資金調達先募集、{ 3 } 事業者間接続先募集

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
通信機器販売業、OA 機器販売業、通信事業者、通信機器メーカー、SI ベンダー、ベンチャーキャピタル

アライアンス対象の相手企業のメリット

当社とアライアンスを組むことにより、販売代理店様については、非常に販売し易い商品をお取扱
することができ、その独自の販売プログラムから、高収益事業を展開することが期待出来ます。
また、資金提供をご検討の企業様については、今後当社の新事業のビジネス展開から、リスクが少
なく、高い投資益を得られることが期待できます。

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 シーフォーテクノロジー
住 所：〒141-0021 東京都品川区上大崎2-13-17
T E L：03-5447-2551
U R L：http://c4t.jp/
設 立 年 月 日：1997年10月22日
資 本 金（百 万 円）：1,306百万円
従 業 員 数：51名（役員含む。2006/9/30現在。）
事 業 内 容：1.暗号技術、秘密分散技術、電子透かし技術の開発・研究・ライセンス供給
2.情報セキュリティ製品の提供
3.情報セキュリティソリューションサービスの提供

アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類
・電子透かし（コンテンツの権利保護・漏えい抑止）/『acuagraphy』

プレゼンテーションテーマ
・電子透かし『acuagraphy』およびその関連技術
<各種コンテンツの権利保護と漏えいの抑止について>

プレゼンテーション概要
・電子透かし技術を利用して、静止画/動画/音声などのデジタルデータに対し、目には見えない形でデータを埋め込んでおくことができます。
・各種コンテンツがデジタル化されWEBなどインターネット環境に利用されることにより、簡単にコピーされ流出/漏えいされてしまうと言う問題が発生しています。
・もしそのような問題が発生した場合に、電子透かしにより埋め込んだデータを元に、権利の主張や流出経路の特定などを行うことができます。また、データが埋め込まれていることを事前に公開することにより、漏えいの抑止にもご利用いただけます。
・本プレゼンテーションでは、動画ファイルをYouTubeに無断でアップされてしまったことを想定し、実際にYouTubeの動画から透かし情報が検出できるかどうかの実験も行う予定ですのでぜひご覧下さい。

プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
〔 1 〕 〔 2 〕 〔 〕 〔 〕
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携
<具体的な内容>
〔1〕電子透かし acuagraphy の販売代理店の募集
〔2〕自社のシステムやアプリケーションに、電子透かし技術を組み込んでご利用いただけるような技術提携

対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
・販売代理店様
・持ち出し禁止や印刷抑制などのセキュリティソリューションをお持ちの企業様
・静止画/動画などの配信業者様、コンテンツやWEBページなどの制作業者様

アライアンス対象の相手企業のメリット
・販売代理店様：まだ新しい分野の商材の入手
・技術提携企業様：自社の製品やソリューションに、コンテンツ保護と言う新しい要件を加えることによる製品価値の向上

平成 18 年度 第 6 回

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：サイバーステーション株式会社
住 所：〒920-8203 石川県金沢市鞍月4-187
T E L：076-267-2192（本社） 03-5825-6521（東京）
U R L：http://www.cyberstation.co.jp/
設 立 年 月 日：2000年5月11日
資 本 金（百 万 円）：73百万円
従 業 員 数：32名
事 業 内 容：ASPサービス・レンタルサーバサービス・システムインテグレーション・Web
コンテンツ制作等

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・コンテンツ・マネージメント・システム（CMS）
- プレゼンテーションテーマ
- ・サイトクリエイションR - ASPとその基礎技術「ドメイン中継通信技術（DRCT）」の概要とその応用について
DRCTは、Domain Relay Communication Technologyの略
- プレゼンテーション概要
- ・DRCT技術を利用した製品に関する説明や同技術を応用する手法について
 - ・販売代理店募集（国内・海外）・開発パートナー募集・DRCT応用技術開発パートナー・アライアンスパートナー募集等・ISPパートナー募集（サイトクリエイションのISP版を活用されたいISP企業）
- プレゼンテーションの目的（目的とする提携に順序を付け、具体的内容をご記入ください）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| { 1 } | { 2 } | { 3 } | { } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 具体的な内容 >
- { 1 } CMS パッケージソフトの国内外販売代理店を募集
 - { 2 } 弊社コア技術を応用し、パートナー企業の製品・サービス開発
 - { 3 } 一部、資本パートナー募集
- 対象の業種・業態（聴講企業外の会員企業）
- ・ディストリビューター、Sier、ソフトウェア開発会社、ISP 他 ITベンダー全業種向け
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・今までにないCMSパッケージのため、製品差別化が可能で販売展開しやすい。
また、DRCTを活用して各パートナー企業様との新しいビジネスモデルや製品の開発をおこなっていくことが可能となります。

平成 18 年度 CSAJ アライアンスビジネス研究会 活動報告書

平成 19 年 5 月 発行

発行 社団法人 コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4 階
TEL : 03-5157-0780 FAX : 03-5157-0781
URL : <http://www.csaj.jp/>

©2007 Computer Software Association of Japan